

どうしても聞きたかった 3つの質問

Q1 切削工具の再研磨に着目された理由は何ですか。

36年前の創業時、世間ではまだ環境やリサイクルについての意識が低く、工具は使い捨てられるものの一つでした。そんな中、「使い捨てられるものを自分の技術で使えるものにできないか。それを活かし世の中に貢献できないか」という会長の思いから、リサイクル、再研磨を主力とした事業をスタートしました。当初、再研磨した工具は新品の50%良くて70%程度の回復でしたが、独自の技術開発により、ケースによっては新品以上の機能を発揮させることに成功しています。

Q2 技術レベルをトップに保つために、どんな取り組みを進めていますか。

どんな依頼に対しても「できない」と言わない、そんな会長の信念のもと、難易度が高いもの、手間と時間がかかるものなど、他社が避ける仕事を積極的に受け入れ、技術力を高めています。その基盤となっているのが人材育成です。社員には良いものをつくるだけではなく、それを周知する能力や知識、使う人の上で起こる問題を予測する力が求められます。そのことが利用時に起きた問題を営業担当の機転で解決することができたり、技術のブレークスルーに繋がっています。

Q3 御社が求める人物像と人材の育成方針について教えてください。

「誠実であること」「機転が利くこと」この2つに尽きると思います。言われたことをただこなすのではなく、より精度の良いもの、より丁寧な仕事、より難易度の高い技術と、常に先、常に上を目指せる心、気持ち大切です。求められる以上の物を提供したいという思いで、エンジニアとしての知識と技術を磨く。難しい局面でも悩んで考え完成させることができる、粘り強く、折れない心を育てるため、職場はもちろん職場以外でも個々に寄り添う教育を心掛けています。

学生紹介 山口由宇太 / 大学では中国語を勉強しています。今年の2月~6月まで中国にある北京大学に留学していました。趣味は映画観賞です。



取材風景

株式会社石川工具研磨製作所

企業プロフィール	
設立	1983(昭和58)年1月
資本金	1,000万円
売上高	6億9,700万円 (2018年12月期)
従業員数	65名 男性42名 女性23名
事業所	[本社・工場]沼津市足高396-82(沼津鉄工団地内) ベトナム(ハノイ)駐在事務所
業務内容	超硬工具設計・製作 各種切削工具再研磨
代表者	代表取締役社長 石川直明
連絡先	TEL.055-926-7012
ホームページ	https://www.ishikawatool.co.jp

過去の採用実績		
2019年度 13名	2018年度 19名	2017年度 11名

私がお答えしました!



経営企画室 室長
窪田 春次さん

この業界では国内トップクラスの規模を誇り、モノを生み出す機械「マザーマシン」で使用するドリルなどの工具製造や再研磨を手掛けています。おとなしくシャイな人が多い業種ですが、当社は社員の平均年齢が35歳と若く、職場は明るい雰囲気です。来秋の新工場立ち上げにより、お客様のニーズに対応する設備の更新を図るとともに、さらに快適な労働環境の提供と社員の満足度向上を目指します。また健康管理の一環としてスポーツトレーナーによるエクササイズなども行っています。

私が取材しました!

日本人らしい「もったいない」という意識から会社を立ち上げたことや、自社製品に対し強いこだわりとプライドを持ち仕事をしていること、他社では出来ない仕事を引き受け続け、その結果、会社の良い評判に繋がったことなど、さまざまなエピソードに感銘を受けました。また、発注依頼に合わせ、一から製品を作り、管理まで請け負うというお客様を第一に考える姿勢、高難易度の技術に果敢に挑戦していく、プロ意識の高さが素晴らしいと思いました。



日本大学 国際関係学部
国際総合政策学科 3年
山口 由宇太